

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年7月9日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本 (学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023年6月11日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	イタリア
留学先大学	ヴェネツィア大学(日本語名) Ca'Foscari University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	イタリア語/ 英語
留学期間	2022年9月~2023年6月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬~7 月下旬、 2 学期/9 月中旬~2 月上旬	1 学期:9 月下旬~1 月下旬 2 学期:2 月下旬~6 月上旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	約 20,000 人
創立年	1868 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (€/€-円)	日本円	備考
授業料		円	交換留学のため、ありませんでした。
宿舍費	3,900	565,500 円	10 か月分
食費	3,000	435,000 円	
図書費	20	2,900 円	イタリア語の教科書
学用品費	20	2,900 円	
携帯・インターネット費	100	14,500 円	月 10 ユーロのプランに加入しました。
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1000	145,000 円	旅行代
被服費	300	43,500 円	
医療費	45	6,525 円	コロナウイルスにかかった際の検査費(保険で全額戻ってきます)
保険費	825	120,000 円	形態:東京海上日動
渡航旅費	1,800	261,560 円	航空券+列車+シャトルバス代
ビザ申請費		円	
雑費	690	100,000 円	
その他		円	
その他		円	
合計	11,700	1,697,385 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田	目的地:ミラノ 経由地:アブダビ
復路 出発地:ヴェネツィア	目的地:羽田 経由地:イスタンブール
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:エティハド航空 料金:124,250 円 復路 航空会社:ターキッシュエアラインズ 料金:127,310 円 ∴ 合計:251,560 円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:Expedia)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:collegio A.M.D.G) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
ヴェネツィア大学の Housing Office が斡旋している寮から選び、いくつか気になる寮を選んでメールを送りました。寮にも直接メールを送りました。ヴェネツィアで住居を探すのは苦戦すると聞いていたので返信が早かったところに決めました。
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
私の寮はほかの寮と比べると値段が安いです。環境は値段相応です。大学のキャンパスから少し離れたところにあります。(静かなところで私は好きでした。)バス、トイレが男女で共有なのは衝撃的でした。掃除も毎日してくれるわけではないので不快な時も多々ありました。ウクライナ紛争の影響で電気代が上がり、そのため冬はヒーターやお湯が切れ、かなり辛い思いをしました。ですが、来年からは家賃が上がるのでヒーターなどはつくと思います。約 50 人の学生でキッチンを共有するので自然と交流は生まれます。プライベート空間の確保を重視する人にとっては合わないかもしれませんが、交流が盛んだという点ではお勧めします。
現地情報
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (治療を受けた場所:コロナの症状が出たのが日曜日で病院や薬局は閉まっていたのでその日は部屋で寝ていました。次の日、薬局で検査を受けて感染が発覚しました。ですが、その時には症状はほとんどなかったため病院などは行かずに、寮で隔離部屋を用意してもらい、約一週間でそこで過ごしました。)
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
イタリア到着後にオンラインで大使館に在留届を提出し、大使館からの危険情報メールを受け取れるようにしていました。私は犯罪に巻き込まれることはありませんでしたが、パスポートを盗まれた日本人学生もいました。私は、普段使うリュックには南京錠と防犯ブザーをつけていました。カバンから目を離さない、携帯をポケットに入れないなど、基本的な防犯をして、周囲の警戒を怠らなければ安全に過ごせると思います。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
現地に到着した日、まず最初にミラノ中央駅で TIM という会社で長期滞在用の SIM カードを購入しました。旅行のことを考えてヨーロッパの他の国でも使えるか確認しました。私は最後までこの SIM カードを、毎月 10 ユロをチャージして使っていました。初めに Vodafone の SIM を買っていた友人はネット接続が不安定だということで途中で TIM に替えていました。寮や大学の Wi-Fi は比較的安定していました。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
現地ではほとんどデビットカードを使っていました。自分の口座にお金がなくなってきたときは親に入金してもらっていました。寮の家賃を払う際に自分は日本の親からの送金ではなく自分で払う形にしていました。最初は ATM から現金を引き落として払っていましたが、使い過ぎでカードがとまってしまったことがあります。カード会社に連絡してしばらくしてから使えるようになりましたが、カード会社には事前に留学に行くから出費が増えるという旨を伝えておくとうれしいそうです。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。
日本食や化粧品、クリームなどは日本で売っているようなものがなかったりします。特に、化粧水は売っていません。また、イタリアの水は硬水で髪の毛が傷みややすくなるため、普段から使っているトリートメントなどをもっていけばよかったですと思います。あとは冬用にヒートテックは必須です。また、イタリアの家には網戸がなく蚊がよく入ってくるので虫刺されの薬などは持って行った方がいいと思います。また、向こうでは土足文化なのでスリッパやサンダルがあると旅行の際も便利だと思います。
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:Master の授業など、一部取れないものもありました。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Venetian Art and Archaeology-1 from The Origins of Venice to The Biennale	ヴェネツィアの美術と建築
科目設置学部・研究科	SIE
履修期間	1 st semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回
担当教授	Myriam PILUTTI NAMER
授業内容	主にヴェネツィアに関する美術や建築を歴史的観点やアーティスト、技法などに触れながら学ぶ。
試験・課題など	毎回の課題は指定された参考文献を読んでくるというもの。 試験は、今まで学んできたことを質問されそれに文章で答える筆記試験。事前に問題がいくつか示され、準備ができました。
感想を自由記入	フィールドワークでヴェネツィアにある美術館を訪れるという回もあり、楽しかったです。授業内ではヴェネツィアにある建築や絵画の説明を受けますが、実際にヴェネツィアに暮らしていると実物を目にする機会が多々あるので理解と興味が深まり面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Introduction to The Italian Language B: Forms, Structures, and Meanings		初級イタリア語
科目設置学部・研究科	SIE	
履修期間	1 st semester	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	会話練習の practice module と講義 general module(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 150・90 分が 2・2 回	
担当教授	Silvia SCOLARO, Anna TOSCANO	
授業内容	会話練習の 2 時間半の授業が週に 2 回とイタリア語の言語と文化に重きを置いた 1 時間半の講義が週に 2 回で成り立つコース。	
試験・課題など	会話練習のクラスは毎回教科書の指定された箇所(5 ページ程)の問題を解いてくるという課題がありました。試験はペアを組んでロールプレイをするオラル試験とパソコンを使って文法問題を解く試験がありました。	
感想を自由記入	会話練習のクラスは 1 回 2 時間半と長く疲れますが、クラスメイトのことをよく知ることができました。教授も熱心な方で、質問などがあれば丁寧に教えてくれました。何度間違えてもできるまで粘り強く相手をしてくれる良い教授でした。講義の授業は発言することが少なく、少しつまらなかったですが優しい教授でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Intercultural Communication		異文化コミュニケーション
科目設置学部・研究科	VIU	
履修期間	2 nd semester	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回	
担当教授	Matteo Benussi	
授業内容	コミュニケーションについて。特に、異文化間、異宗教間の対話で何が起きているのか、考えられる衝突や対策などについて。	
試験・課題など	指定された文献を読んでくるというのが毎回課されました。また、学生が事前に指名されて 1 つの文献についてプレゼンテーションも行いました。試験としては自分でフィールドワークを行ってレポートにまとめるものと、今まで読んできた文献を参考に特定のテーマに沿ってレポートを書くものがありました。各レポートについてのプレゼンテーションもありました。	
感想を自由記入	文献は哲学的なものや人類学のものがあったりして理解が難しかったですが、そこには教授も理解を示してくれていました。ゲストスピーカーを呼んだり、学生のプレゼンテーションを聞きあったり、講義だけではなく楽しい回も多かったです。レポート課題を短期間で 2 回程課され大変でしたが内容がとても興味深くて面白かったです。いろんなバックグラウンドを持つ学生と意見交換をすることができ、有意義な授業でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Gender Studies from the Viewpoint of Labor Economics and Behavioral Science		労働環境、行動科学から見るジェンダー学	
科目設置学部・研究科	VIU		
履修期間	2 nd semester		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、グループワーク、プレゼンテーション(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が2回		
担当教授	Sachiko Kuroda		
授業内容	グローバルジェンダーギャップ指数や各国の性平等に関する現状を社会、政治、教育などの面から比較して課題や解決策を考える。		
試験・課題など	毎週グループか個人でのプレゼンテーションがあり、週末は準備に追われていました。クラスメイト全員でアンケートを作り、それを翻訳して母国の人に回答してもらうという課題もありました。試験では、アンケート結果の考察や授業で学んだことを含めてジェンダー平等な社会づくりのためのレポートを書きました。		
感想を自由記入	とにかくプレゼンテーションが多くて有名な授業でした。旅行中も準備に追われるなど忙しかつたですが、その分理解も深まり、面白かったです。各国の学生が自分の国について調べて発表しあうので日本代表としての責任感のようなものもありました。特に面白かったのは、クラス全員で協力して意識調査を作り、母語に翻訳してアンケート調査を実施し、回答をまた各国で比較した授業です。自分たちで作ったアンケートとその結果には愛着がわきました。期末レポートでも考察のやりがいがあり、楽しかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Environmental Change and Everyday Life		環境問題と私たちの日常	
科目設置学部・研究科	VIU		
履修期間	2 nd semester		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、ディスカッション (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が2回		
担当教授	Timothy Cooper		
授業内容	現代で起きた自然的、人的な環境問題と私たちの日常の関係について。		
試験・課題など	毎授業の課題は指定された文献を読み、次の授業のディスカッションに向けてノットをとってくるというものでした。試験としては、授業で学び取ったことや自分の意見をまとめたレポートを提出しました。		
感想を自由記入	初回は Everyday とはなにかというところから始まりました。授業内では教授も含めて学生間でのディスカッションがほとんどでした。最初は発言するのにためらっていましたが、不正解などなく、感じたことを発言すればいいんだという環境だったので楽しく授業に参加できました。クラスメイトの多くがイギリス人で聞きなれない英語についていけず落ち込むこともありましたが、教授が気にかけてくれたので自分が学んだことなどを書いた小レポートを提出して内容確認をしてもらったりしました。晴れた日には中庭の芝生に座りながら青空授業をすることも多く、新鮮な経験でした。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:休学

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

本来なら 2 年次に留学に行き、帰ってきてから就職活動をする予定でしたがハンデミックで留学に行けず、3 年生で出発という形になりました。私の周りの留学生も 3 年生が多かったです。その中では留学をしながら就職活動をする人と留学を終えてから就職活動をする人で分かれていました。自分に合ったタイミングで就職活動が始められたらいいと思います。ただ、就職活動のために留学を諦めるのはもったいないと思います。留学を通して多様な人生プランを知ったり、新しい興味が見つかったりすることも珍しくないと思うので、あまり固く決めすぎずにやりたいことからやっていくのが後悔しないやり方なのかなと思います。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

私はこれから 1 年間休学してその間に就職活動をする予定です。留学中は留学に集中したい、大事な就職先を丁寧に選びたい、また留学の前後でやりたいことが変わっているかもしれないと考えこの決断をしました。今の時代は留学しながらもオンラインで就職活動ができると周りの人に言われることが多かったのですが、向こうで就職活動はしませんでした。同じ寮の日本人学生で就職活動をしている人がいましたが、時差のせいで昼夜逆転になっていたり、向こうでの授業を断念していたり、とても大変そうでした。ハンデミックも治まり、2 年生で渡航する人が多いのかもしれませんが、しっかり自分でプランを立てているのならば何年生からでも遅くないと思います。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	語学試験の勉強
	8月～9月	TOEFL 受験、出願
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	航空券購入、滞在先の確保、ビザ申請
	8月～9月	ビザ取得、航空券購入、渡航
	10月～12月	1学期期末試験
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	2学期期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

私の留学での目標は、英語力を伸ばすということよりも異文化交流をしたいというものでした。異文化交流といってもいつも楽しいわけではなく、時には文化の違いで悲しい思いをしたり、イライラしたりするときもありました。しかし、相手からの視点も考えてみると徐々に冷静になれました。違和感を覚えることがあっても客観的な視点に立ってその違和感を文化の違いとして楽しめるようになったのは大きな成長だと思います。今の時代、オンライン留学という方法もありますが、日本を離れて海外で生活してみることで得られるものはたくさんあると思います。自分自身、学んだことの多くは講義からよりも人と人とのかかわりからでした。

留学をすると決めたのち、私がイタリアを留学先に選んだ理由は、イタリア人の何よりも家族を大切にする姿勢、自分の人生を楽しんでいる姿をテレビ番組で見てイタリア人の暮らしや文化に興味を持ったからです。また、自分がカトリック教徒ということもあり、彼らの生活に宗教がどのように影響しているのかを見てみたいと思ったからでもあります。さらに、私は日本語教育に興味があったのですが、ヴェネツィア大学では日本語を学習している学生と日本語教師ボランティアとしてかかわれるという制度があることを知ったのでこの大学に留学を決めました。現地では日本語の自由会話の時間に会話相手として参加したりしました。また、そこで紹介された日本語学習者向けの SNS の運営というインターンシップにも参加し、日本語のチェックや日本に関する投稿の作成などを行いました。さらに、現地の日本語教師の方の紹介で日本語を学んでいる高校生の家庭教師をするという経験もしました。一つチャレンジをしてみたらそこからいろんな活動につながっていきました。留学中は気になったらやってみるという精神が大切だと思います。

留学出発前は不安でいっぱい何がわからないかもわからないという状況かもしれませんが、自分で準備した分だけ自信につながり、あとは何とかできるので大丈夫です!失敗やハプニングも貴重な経験なのですべてを全力で楽しんでほしいです。